

# 第1回平戸市総合計画審議会

## 議 事 録

と き：平成28年9月26日（月）13：30～15：30

と ころ：平戸市役所3階大会議室

開 催 日 時	平成 28 年 9 月 26 日 (月) 13:30~15:30
開 催 場 所	平戸市役所 3階大会議室
出 席 委 員 (50音順、敬称略)	池田直彦、上田正子、相知清隆、岡山紀一、小田サチ子、柿添圭嗣 鴨川周二、久原鐵男、坂本鏡心、滝 知則、西サチ子、橋口和久、 松山芳弘、村上則夫、森 健司、山口純哉、吉居辰美、吉福弘実 (18名)
欠 席 委 員 (50音順、敬称略)	今川亮生、岡村幸夫、藤澤美好 (3名)
事 務 局 (財務部企画財政課)	吉住財務部長、小出企画財政課長、藤山企画統計班長、峯野企画統計班係長、山口企画統計班主査
次第	
1. 開 会	
2. 委嘱状交付	町田副市長から委員代表の池田委員に交付
3. 委員紹介	事務局から紹介
4. 市長あいさつ	町田副市長
5. 会長及び職務 代理者の選任に ついて	委員の互選により、会長に村上委員を選任。 会長の指名により、職務代理者に吉居委員を選任。
6. 市長からの 諮問	副市長から村上会長へ諮問書を渡す。
7. 議 題 (1)平戸市の現状 等について	(事務局から説明)  質疑・意見等無し

<p>(2)第2次平戸市 総合計画及び策 定方針(案)に ついて</p>	<p>(事務局から説明)</p>
<p>委員</p>	<p>「1. 計画策定の趣旨」の中に「平成29年度に計画期間満了を迎える現行計画の検証による進捗評価を踏まえ」とあるが、これは済んでいるのか。現行計画の検証が済んだ段階で新しい計画に取り組むのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現行計画の検証は、現在はまだ行っていないが、今年度実施する予定。時期は、今のところ11月以降を考えている。現行計画には「やらんば指標」等を挙げていることもあるので、庁内の各課にもヒアリング等を行いながら、検証等を行う予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>「2. 計画の位置づけ等」の②で、「市民と行政が力を合わせ、地域づくりの仕組みを」ということに異論はないが、市民の思いを計画に反映するという事なのか。全体的にあまりに市民本位にしてしまうと、行政力が全然効かなくなると思う。市民の町内、自治会等がそれによって動こうとするのか。市がある程度は主導権を持ってもらいたい。あまり市民に主導権を持たせるのはどうかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>計画策定において、参加・参画・協働という流れがある。従来は行政主導で作ってきたものに、市民の皆様に参加していただいて、参画ということになると、出来上がった中に市民が入って行政のいろいろなことを策定していく。</p> <p>今は、全国的な規模で市民協働ということで、市民と行政が同じ目線で行っている。行政が持っている非常に優れた部分と、市民が持っている優れた部分をそれぞれ出し合って、協力しあって、いろいろなものを進めていこうという市民協働という流れになっている。その中で、今、委員が言われたように、市民に任せられるだけの能力があるのかとか、暴走してしまわないかとか、いろいろな思いがあるかもしれないが、あ</p>

	<p>くまでこれは行政主導のものに、市民の意見を十分反映させた形で進めていくようになる。</p>
事務局	<p>ご懸念があるのは重々わかる。これから、ワークショップという形で各地域に出向いて行く。当然、エリア的な問題があって、離島は離島の思いがあるし、田平と平戸の南部を比べれば交通の時間差があるように、いろいろな条件が地域で違うのでそれぞれの意見が出てきて、採用できるものとできないもの、両方出てくる。</p> <p>それを事務局が説明しながら、こんな意見が出たので、それを踏まえてこういう形にした方がよいとか。今後、地域審議会や地域協議会との協議を行って。また、議員の方々にもお示しして、最終的に議決を頂くことになっている。</p>
委員	<p>地域によっては、ある特定の人が偏った意見を出すことがある。皆でどういうふうにするかを考えてもらわないといけない。好き嫌いで意見を出されたら変になってしまう。</p>
会長	<p>地域、地域で、そういうこともあろうかと思うが、そういうところもいろいろと教えてもらって、進めていければと思う。</p>
委員	<p>私の地域ではコミュニティが立ち上がり、委員として初めてワークショップを経験した。本当に面白いくらいに自分たちの地域の特色、足りない所やいい所がどんどん出てきた。今まで行政が何をしているかわからないことが多々あったが、それを吸い上げてこれから行政と地域が協力して、まちづくりをしていくのだということが、少し見えてきた。</p> <p>市民と行政が力を合わせて地域づくりと謳っていることは、自分たちの意見が取り入れられて、市が何かに取り組もうとしていると感じる。</p>
会長	<p>これまでは、言いたいけれど言えないということが随分あったかもしれないが、年齢や性別に関係なく、最終的には自分の住んでいる地域社</p>

	<p>会をできるだけ良くして、幸福な生活を送っていったらということだから、そういう形でどんどん参加して意見を出してくれたらいいと思う。</p>
<p>(3) 策定体制 (案) について</p>	<p>(事務局から説明) 質疑・意見等無し</p>
<p>(4) 策定スケジュール (案) について</p>	<p>(事務局から説明) 質疑・意見等無し</p>
<p>(5) 市民アンケートについて</p>	<p>(事務局から説明)</p>
<p>会 長</p>	<p>議事7の(1)～(5)まで全て含んで何かご意見やご質問、あるいは、平戸市の将来などについて何か思いがあったら意見をお願いしたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料14ページのアンケートの内容で、平戸の特徴イメージカラーに丸をつけるようになっているが、なぜその色を選んだかを聞きたい。若い世代は明るい色を選ぶし、我々は暗い色を選ぶので、年代によって選ぶ色が変わってくるのかもしれない。選んだ理由を書いてもらえるとありがたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>事務局に検討いただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>総合計画は総花的、羅列的になろうかと思う。そうならないように優先順位を付けるという説明だったが、どのような手順で行うのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>「平戸市総合戦略」は、平成27年から31年までの5年間を期間とし、今のところ5年間で終わることになっているが、現時点で一番大きな基礎となる計画と捉えている。総合計画は平成30年からの計画なので、2年間重なる。総合戦略で昨年度、いろいろな団体も含めて5年分</p>

	<p>のやりたい事業の作り上げをした。</p> <p>現在、それに基づいて担当各課が予算要求をして、事業を実施して人口減少に立ち向かうという形になっている。</p> <p>総合計画を作るにあたりそれに加えてほしいという話が出てくると認識している。総合戦略は昨年作ったが、この1～2年で部分的に結果が出てきた。K P I 指標を設定しているが、達成状況が低ければ力を入れてほしいとか、やってみたが結果が出ないのならやめたほうがいいのではないとか、いろいろな話が出てくると思うので、随時取り入れながらやっていくことも考えている。</p> <p>今の時点では、どの段階でどうやっていくと明確には言えないが、そういう作業を繰り返していく中で、拾って修正を加えていく。特に加えるのが一番多くなると考えている。</p> <p>今までは、結果の検証を怠っていたということで、国からの指導もあり、今回の総合戦略はK P I という数値目標を設定して、K P I を毎年P D C A サイクルという方式で検証しながら、総合戦略を逐次見直すことになっている。多くの意見を取り入れれば取り入れるほど、総花的になる傾向は仕方ないが、検証をする中でブラッシュアップしながら成果のある計画を作っていきたい。</p> <p>今までの反省としては、ばらまき型になっているところを見直しなさいと言われていた。日本全国で総合戦略を作って地方創生を行っているので、検証しながら、本当に適正かどうか確認していく作業を毎年行っていきたい。</p> <p>副市長 今、時代の転換点と言われているが、既に日本全体の中で減少社会に入りつつあって、これまでになかった時代を生きていく形になってくる。</p> <p>2025年には平戸市の高齢者の人口も減り始めるという状況になるので、今までと全く同じような市民サービスがずっと提供できるか、非常に疑問になっている。これからは、地域でできることはできるだけ地域でやって、地域を支えていく形になってくる。</p> <p>総合戦略の中で、そういう形で人口減少が進んでいくことを示してい</p>
--	---

	<p>るが、それは全体的な話。小学校単位や地域のもう少し細かな単位では、そのうち限界集落が出てくる。</p> <p>なぜ、いろいろな場所で皆さんの意見を反映するかということ、市民の皆さんに理解していただきながら、これからも行政運営をやっているかなくてはならないということを含めて、こういうやり方で進めていこうと考えている。</p> <p>この計画で、平戸市は何をしたいのか。人口を増やしたいということであれば今、平戸市には産婦人科が1軒も無い。医療の面では、佐世保市、平戸市、松浦市が協力して佐世保を中心に、佐世保・県北医療再生計画が既に先行している。平戸で「産めよ増やせよ」とやるのか、何か大きな問題をぼんとやっていくかだと思う。</p> <p>「自分に合っている仕事は人が知っている」という言葉があるが、その地域がどうしていけばいいかは、他が知っている。人が言うことを聞いてみることだ。</p> <p>平戸市民だけにアンケートをとっても何の役にも立たないと思う。平戸市以外の人から平戸を見た場合にどうなのか、その時に無責任な返答をしないためには、真剣に平戸のことを考えてくれて、かつ、外から平戸を見られる人にしつこくアンケートをすれば、あそこはもう諦めるべきとか、こうしたほうがいいのか、平戸に向いている商売は、となると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>この計画で、平戸市は何をしたいのか。人口を増やしたいということであれば今、平戸市には産婦人科が1軒も無い。医療の面では、佐世保市、平戸市、松浦市が協力して佐世保を中心に、佐世保・県北医療再生計画が既に先行している。平戸で「産めよ増やせよ」とやるのか、何か大きな問題をぼんとやっていくかだと思う。</p> <p>「自分に合っている仕事は人が知っている」という言葉があるが、その地域がどうしていけばいいかは、他が知っている。人が言うことを聞いてみることだ。</p> <p>平戸市民だけにアンケートをとっても何の役にも立たないと思う。平戸市以外の人から平戸を見た場合にどうなのか、その時に無責任な返答をしないためには、真剣に平戸のことを考えてくれて、かつ、外から平戸を見られる人にしつこくアンケートをすれば、あそこはもう諦めるべきとか、こうしたほうがいいのか、平戸に向いている商売は、となると思う。</p>
<p>会長</p>	<p>平戸市総合戦略の『ひと（H I T O）響きあう宝島 平戸』は、素晴らしい。先ほど人数の話があったが、若い人が10人とお年を召された方が10人いるのでは、同じ10人でも若い人は消費傾向があるが、お年を召した方は1～2万円あれば生活が成り立つ。同じ量でも年齢構成によってまちをつくることに違いが出てくる。若い人のために婚活や街コンするという考え方もいいが、高齢者の方も魅力的になっていただき、魅力的な高齢者がいる平戸というのも結構面白いのではないだろうか。</p>

	<p>今、若い人はきれいな食べ物などは必ず写真を撮って発信するので、見た目の良さにもう少し重点を置いて、見せることに日が当たればよいと思う。</p> <p>『ひと（HITO）響きあう宝島 平戸』の宝島というのは探しに行くものだが、宝を探すという発想ではなく、あなたの宝物をこの平戸に埋めに来ませんか、何年かしたらまた平戸に来ませんかというような逆発想も、いろいろな方に平戸においでいただく発想になるのではないかと。</p> <p>委員の皆様には、これからワークショップの中やパブリックコメントなど様々なところで、思っているイメージや創造力を十分にお出しただいて、平戸のまちが魅力的で豊かな、そして幸せに暮らすことができる地域になればいいなと思う。</p> <p>委員</p> <p>今度の総合計画は、今までの総合計画とは意味が違う。日本全国のまちがしぼんでいく中で、どう対応していくか、人口減少の中で、どんな課題があって、どう解決をしていけばいいかを作り上げるのが、今度の総合計画だと思う。平戸市よりもっと条件の悪い中で、まちづくりがうまくいっている所はいくらでもある。</p> <p>平戸図書館に、まちづくりについてどういう図書があるのか探してもらえないか。参考になる図書の一覧を紹介していただければ、この会議が非常に有意義なものになっていくと思う。</p> <p>もう1点は、できるだけ会議に出席する前に資料に目を通して、ここはどういうことなのかと疑問点や意見を持ってこの会議に出席することが、いい計画を作ることにつながっていくと思う。</p> <p>事務局</p> <p>まちづくりに関連した本の件は、司書にお願いして書籍のリストをお渡しする。次回から、会議のレジュメも含めた書類は1週間前にはお手元に届くようにするので、事前にご覧いただき、会議でご意見をいただきたい。</p>
--	--

<p>8. その他</p>	<p>事務局から「起草委員会」を発足提案の説明  ※委員、全員「発足」に異議なし</p>
<p>9. 閉 会</p> <p>副市長</p>	<p>非常に有意義な意見が出て、今後が楽しみ。厳しいお話をさせていただいたが、社人研の推計がそのまま平戸市の将来人口につながることは全然望んでない。いい意味で、その推計を裏切るような計画づくりをし、なおかつ、実行性のあるものにしていきたい。人口増対策と両方やっていくことが必要なので、失敗しないようにがんばりたい。今後とも協力をお願いしたい。</p> <p>会議終了</p>